

茨木市産業振興アクションプラン推進事業 事業報告

茨木市商工労政課

2012年3月27日

1. 産業振興のスタンスの変化

《これまで》

政策目的に応じた
補助金交付が主体



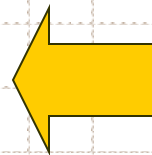
《これから》

民間の自発的な取組の
タネを実現する手助けを
1つの柱に



《やるべきこと》

- ・訪問(事業者との接触)
- ・交流とネットワークづくり
- ・議論の場づくり
- ・プロジェクト化サポート



《この3年間》

そのための土台づくり
(関係づくり)の位置づけ

2. 「民間」の主体性を活かすための重点施策

①プロジェクト創出会議の運営

②提案公募事業

(産業活性化プロジェクト促進事業補助金)

③茨木ブランドの推進

④茨木ビジネス交流サロン

⑤中小製造業訪問・事業化支援

3-1. プロジェクト創出会議の運営

【プロジェクト創出会議の概要】

・市内事業者・市民が出会い、新たな企画の立ち上げ、参加者間の連携強化、イベント等への協力・参加などにつなげる場

【今年度の開催実績と主な議題】

①6月2日(木) 9名参加

・ヴィンテージカー・イベント
・東日本大震災の復興支援イベント など

②8月25日(木) 11名参加

・茨木から日本を元気にする講演会
・茨木ニュース通信社の取組 など

③11月10日(木) 12名参加

・茨コン
・ようこそ！サン・チャイルドプロジェクト など

④2月2日(木) 18名参加

・鼓動初めの報告
・茨産プロジェクト・茨コン・ようこそサン・チャイルド・おいもプロジェクトの進捗 など



3-2. プロジェクト創出会議での提案等から生まれたプロジェクト (1) 茨木ヴィンテージカー・ショー&食のマルシェ

【プロジェクトの概要】

現代にない人間味あふれたデザインとテーストを持つ1960～70年代のヴィンテージカーを展示し、古き良き文化と市内の食を味わっていただく。

【実績】

・11/6(日)11時～17時

中央公園北グラウンドで、ヴィンテージカー約40台を展示するとともに、同時代のイメージに合う、市内の飲食8店と物販3店が販売を行った。

・今までになかったタイプのイベントで、来場者にも好評だった。



3-3. プロジェクト創出会議での提案等から生まれたプロジェクト (2) 茨木おいもプロジェクト

【プロジェクトの概要】

・育てやすく、応用範囲の広い農作物であるサツマイモを、茨木市の特産品として育てていこうというプロジェクト。

市内農地でサツマイモを栽培したり、市内でサツマイモの加工品を扱う事業者の協力を得て、PR活動や商品開発を検討中。

【今後の予定など】

- ・市場に出回っている数量が少ない品種の作付け
- ・おいも商品を扱う参加協力店の拡大
- ・スイーツコンテストの開催 など



4. 産業活性化プロジェクト促進事業補助金の応募・採択状況

【補助金の応募状況】

<4件>

- ①茨木大岩の芋焼酎「茨木童子」製造プロジェクト
(茨木商工会議所 メイド・イン・茨木 実行委員会)
- ②第1回茨木ヴィンテージカーショー & 食のマルシェ「ドライブイン ヴィンテージ」
(茨木ヴィンテージカーショー実行委員会)
- ③茨コン(茨木結婚活動)
(茨コン実行委員会)
- ④茨木ニュース通信社 インターネット 配信事業
(茨木ニュース通信社)

【採択状況】

<3件>

- ①茨木大岩の芋焼酎「茨木童子」製造プロジェクト
- ②第1回茨木ヴィンテージカーショー & 食のマルシェ「ドライブイン ヴィンテージ」
- ③茨コン(茨木結婚活動)

【実績】

予算では年2件を見込んでいたが、採択に値する案件がそれ以上にあり、高いニーズが確認できた。

5-1. 茨木ブランドの推進

【事業の概要】

市内で注目すべき商品やメーカーなどを発掘・創出し、さまざまな媒体による情報発信や、イベントなどを通じて付加価値のPRを進める。

【茨産研究会について】

「茨木生まれのステキなもの」を発掘、発信する市民有志のグループ。

特色ある商品など「茨木産」の情報交換を日常的に行い、気になるお店や商品をピックアップして取材。現在ブックレット「いばらきさん」の創刊準備号の発行を進めている。

【いばらきさん創刊準備号】



5-2. “茨産”の例

【研究会で発掘した“茨産”の例】

○見山の郷の米粉パン

材料に、小麦粉ではなく茨木見山地区産の米粉を使った無添加のパン

○4Gats(クアトガッツ)(革小物)

「ちょっと賢い革小物」をコンセプトに、デザインから裁断、縫製、仕上げまで4人のレザークリエイターのハンドメイドで製作するメーカー

○ミスギの攪拌機「まぜまぜマン」

一斗缶などの容器そのままを素早く、すみずみまで混合・攪拌する機械



見山の郷の
米粉パン



ひさご海苔



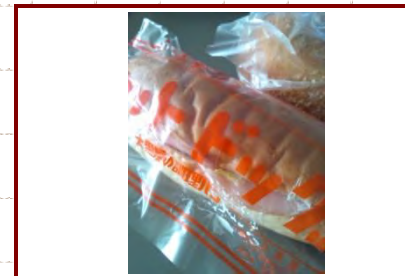
4Gats(クアトガッツ)
の革小物



ミスギの
まぜまぜマン



土岐鶏卵の卵



大黒屋のパン

6. 茨木ビジネス交流サロンの運営

【事業の概要】

経営者等が互いに刺激を受けたり、新しい知見を得たり、企業間交流・連携を視野に入れた交流会

【実施した内容】

- ①第1回 10月26日(水) 12名参加
テーマ『大阪のものづくりを考える』
講師:大阪府 ものづくり支援課
領家 誠 氏
- ②第2回 12月15日(木) 11名参加
テーマ『小さなことにしつこく真剣』
講師:高石工業(株) 高石 秀之 氏
- ③第3回 2月21日(火) 26名参加
テーマ『複合材に夢をのせて』
講師:茨木工業(株) 豊留 永久 氏

【参加者の声】

・このような場があることはありがたい



7. 中小製造事業所の訪問

【事業の概要】

市内中小製造業者を訪問し、経営課題やニーズを聴き取り、課題解決や事業化の支援、施策情報の提供、企業間連携・産学連携につなげる。

【訪問件数など】

○目標指標

- ・訪問件数 ...40件以上
- ・課題、要望抽出件数 ...15件
- ・課題、要望の解決に向けた具体的行動 ...10件

○実績

- ・訪問件数75件
- ・課題、要望抽出件数22件
- ・課題、要望の解決に向けた具体的行動15件

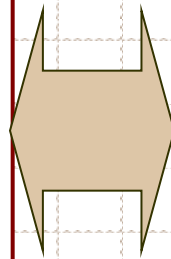
【事業者の声】

- 操業環境に関する意見が多い
前面道路が狭い、既存不適格で建て替えや拡張ができない、幹線道路が混むなど
 - 地価が高い、事業活動に見合う土地がない
 - 節電で従業員の健康が心配
 - 震災対策の申し出
 - 円高の問題
- など

8. 今年度の到達点と次年度に向けての課題

【今年度の到達点】

- ①プロジェクト創出会議での提案が実現、実現に向けた動きが目に見える形で進展
- ②「茨木産」としてPRすべき候補商品が多数発掘され、地域のポテンシャルを確認できた。また、茨木産の魅力発信に取り組むグループができた
- ③製造業者の交流の場づくりが進展



【次年度に向けての課題】

- ①プロジェクト創出会議への参加者と新規提案の増加が、今後の発展には重要
- ②公募補助のニーズが大きく、予算の増額が必要
- ③茨木ブランドは、発信方法に工夫が求められる
- ④交流会では、さまざまな企業の集客につなげるセミナーの手法(内容や形式のパターン)の確立や、周辺市との連携が必要。
- ⑤製造訪問は、訪問先に合わせて、巡回の仕方に工夫が必要